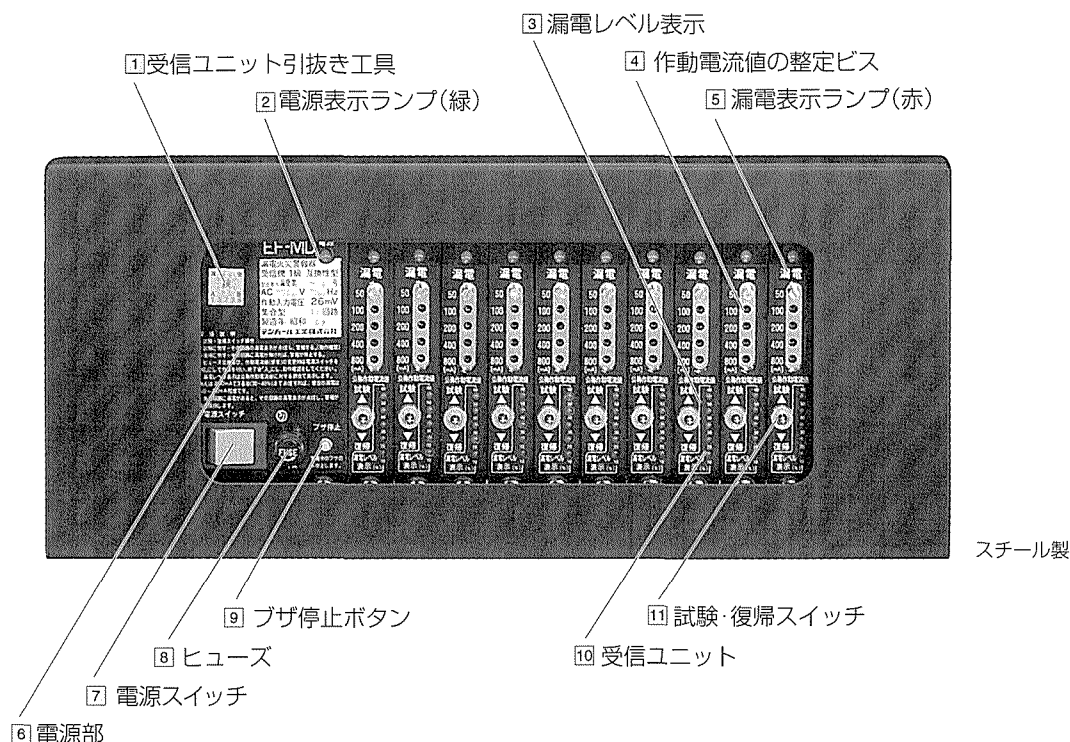
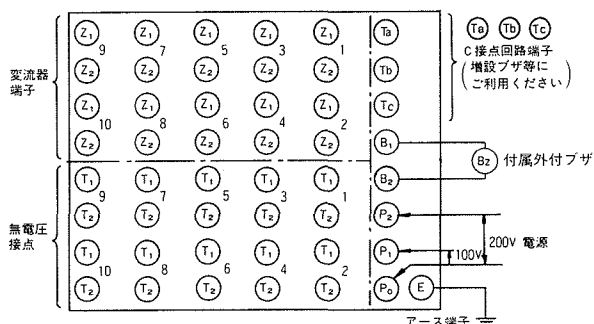


EF-MDA ■集合型10回路／埋込形／国家検定合格品

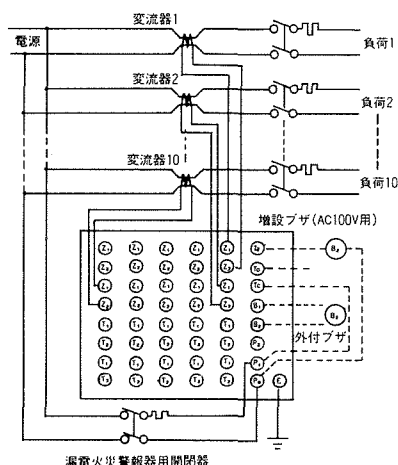


端子配列

注意 ■電源は200Vの時P₀-P₂、100Vの時P₀-P₁に接続してください。
 ■Z₁-Z₂ (1~10)は変流器端子ですので電圧をかけないでください。
 ■T₁-T₂ (1~10)は各回路ごとのa接点端子です。
 ■T_a-T_b-T_cは共通のC接点回路端子で増設ブザー等にご利用ください。



■接続例



各部の説明

- ①受信ユニット引抜き工具：受信ユニットはプラグイン式です。この引抜き工具で引出してください。
- ②電源表示ランプ(緑)：受信機の電源が入っていることを示します。点灯しない場合はヒューズ、電源スイッチ、専用開閉器を確認してください。
- ③漏電レベル表示：現在の漏電状態を設定作動電流値に対する割合で順次点灯します。受注仕様として漏電レベル表示なしも可能です。
- ④作動電流値の整定ビス：設定する電流値のネジ穴に確実に整定ビスをネジ込んでください。整定ビスがゆるんだ状態では50mA感度となります。設定する場合は、電源スイッチをONにしてください。
- ⑤漏電表示ランプ(赤)：漏電が発生するとランプが点灯し自己保持します。
- ⑥電源部
- ⑦電源スイッチ：受信機の制御電源をON/OFFできます。ヒューズ取替時、作動電流値の変更時にONにして作業してください。常時はONにしておいてください。
- ⑧ヒューズ：ガラス管ヒューズMF51(φ5)、1.5Aを使用してください。
- ⑨ブザ停止ボタン：警報中に押すとブザのみ停止します。各ユニットの警報が復帰すれば、ブザ停止も自動復帰するので、次に漏電が生じたときもブザは鳴ります。
- ⑩受信ユニット：プラグイン構造なのでメンテナンスが容易にできます。表示はすべて発光ダイオード(LED)使用。
- ⑪試験・復帰スイッチ
 - 試験(上方向)：本体の動作確認及び変流器の導通試験ができます。
 - 復帰(下方向)：漏電がなければ警報が復帰します。